

国際サーカス村通信	VOL14NO02	2009年10月27日(火)
		文責 西田 敬一
編集 NPO 法人国際サーカス村協会	〒376-0303 群馬県みどり市東町座間 41-1	
Tel0277-70-5010 Fax0277-97-3688 mura@circus-mura.net http://www.circus-mura.net		

● 総会のお知らせ

平成 20 年度の総会を下記の日程で開催したいと思いますので、同封の葉書にてご出欠をお知らせください。

日時 平成 21 年 11 月 21 日 (土) 午後 1 時～3 時
 場所 国際サーカス村協会・東京事務局 (アフタークラウドカンパニー内)
 課題 平成 20 年度事業報告・会計報告
 平成 21 年度事業計画

20 年度の事業のうち、もっとも成果があったと思われるのは、カンボジア・PPS との交流で、今回は、ほぼ一ヶ月以上、ふたりの生徒が PPS に滞在し、交流を深めたことではないだろうか。また、かれらを、再度、沖縄のキジムナーフェスタに呼び、東京公演を行ない、別チームを新潟・妻有の芸術祭に呼ぶことができたのも、成果といえよう。

また、現在サハ共和国のサーカス場での公演計画も検討されており、国際交流という点では活動に弾みがつきつつある。

しかし一方では、新入生が少ないのが気になるところである。専門学校のように、学校運営のために生徒を募集するようなことはしたくないので、そうしたことも、総会で話しあえればと考えている。

* 年会費ご納入のお願い

会員の方々には、年会費 5,000 円をご納入くださるようお願い申し上げます。また、会員拡大のため、会員でないの方々にもこの会報、郵便振替用紙を同封させていただいております。ぜひこの機会に、サーカス村・サーカス学校を盛りたてるために会員になっていただければ幸いです。

● BPZOOM、Hilty&Bosch たちの競演

BPZOOM のベルニーから、彼らが参加しているツアーでスイス・チューリッヒで行なっており、スイスでもっとも人気があるという男女ペアのおしゃべりクラウン “ウルス & ナージャ” を見に来いという連絡に、10 月 2 日から 6 日まで 3 泊 5 日のハードスケジュールでスイスへ。実は、このツアーに日本人ロック (Lock) ダンサーのヒルティ & ボッシュが参加、その手配を大野洋子が行った。(<http://www.ursusnadeschkin.ch/perlen/>)

急な話だったので行こうかどうか迷ったが、行ってよかった。というのも、ショーの作り方が大いに勉強になったからだ。特に新しい仕掛けがあるというものではなかったが、

全体のまとまりがよかったのである。

このショーに、フランス人のモルガンというジャグラーが参加していた。その技はオリジナリティ豊かで、しかもコミカルな部分もあり、感心させられた。その彼が日本にきて、上野のヘブンアーティスト公演、そして三茶のフェスティバルに出るといので、時間があれば、サーカス村に来てくれとお願いした。



彼は10月22、23日とサーカス村に。そして、いろいろとサーカス学校のジャグリングの指導をしてくれ、なおかつショーも見せてくれた。実に有難かった。

●サハ共和国セルゲイ氏、来村

現在、リトルワールドで公演中の“シベリアサーカス”を派遣してくれているサハ共和国の国立サーカス団の団長セルゲイ氏がサーカス村に来てくれたのは、9月17、18日。今年15周年を迎えるサハ共和国の国立サーカス団だが、いま彼が目指しているのはサーカス学校の設立。その参考になればと、ぼくらのサーカス学校に来てくれたのだった。正直、参考になるようなことはないと思ったが、セルゲイ氏にしてみればサーカス学校をやっているぼくら、そして先生、生徒たちを見たかったようで、自分と同じように、サーカスを夢中で追い求めている“人”に出会いたかったようだ。彼から、沢入サーカス学校の公演をなんらかのかたちでヤクーツクで公演したいと言われ、いささかしどろもどろになってしまった。どうすればいいのだろうか。

●次回月例会

議題 スイス報告
報告者 西田敬一 大野洋子
日時 2009年11月27日(金)
場所 千駄ヶ谷区民会館和室
問合せ ; 03-3403-0561 (ACC)

●月例会報告『国際コントーション大会 in ラスベガス』

長屋

私は学生時代モンゴルのサーカスでコントーションを勉強していたこともあり、ラスベガスで行われたインターナショナル・コントーション・コンベンション(ICC)に、9月1日から3日までの3日間、参加してきました。このコンベンションは1998年に一回目が開催され、今年で5回目となります。参加者は小さい子どもがメインなので、ほとんど親同伴で来ていました。旅費は全て参加者の負担なので、アメリカ付近のわりと裕福そうな家庭の参加者が多かったです。参加者は全員で50~60人ほどいましたが、カナダ、アメリカ以外の参加者は私だけでした。あとはイギリスやフランスなどからファンのおじさんが来ていました。

このコンベンションの主催者の女性はSKAさんというドイツ人で、自身のコントーション好きが興じてICCを始めたそうです。もともとスチュワードスをしていて、今は夫のテレビ会社のイベントの仕事などをしているそうです。会場は彼等の自宅近く、ラスベガスのメインからは離れた辺鄙な所にあるホテルでした。9月1日・2日はワークショップ、3日はショーというスケジュールでした。ワークショップではコーチが7人居て、参加生徒は30人くらい、10人の参加者で1クラスを見るような感じです。コーチはコントーション専門のドイツ人やアメリカ人、モンゴル人もいました。ラスベガスでは現在5つシルク・ドゥ・ソレイユのショーが行われていますが、コントーションが入っているショーはそのうち2つで、そのコントーションの演技をしているアーティストは全てモンゴル人だそうです。そのモンゴル人がラスベガスに住んでコーチもしているので、モンゴル人コントーションコミュニティみたいなものが出来ており、私は滞在中、英語よりもモンゴル語を話していた気がします。

コントーションは柔軟性だけではなく、力も重要です。だから腰を曲げる訓練以外にも、インナーマッスルを鍛えるレッスン、倒立などのレッスンも行いました。カナダからの参加者は腰を曲げるトレーニングしかしていなかったようで、その練習方法に驚いていました。私もモンゴルに居たときに毎日2時間コントーションの練習をしていましたが、1時間は腰を曲げ、1時間は腕立て伏せをしていました。

コーチの一人、デイヴィットは自分ではコントーションはしないのですが、人体の柔軟性向上の研究をしていて、体を柔らかくするメカニズムを知っています。実際に私の頭とお尻が着かなかったのを、20分位のレッスンで着けてくれました。モンゴルで私が習ったときは基本的にスパルタで、生徒が泣こうが叫ぼうが力づくでやってしまうので、親は見学禁止になるほどでした。でも、デイヴィットはそういうやり方が嫌いで、「痛みを伴わなくても人体は進化する」を座右の銘に、とてもジェントリーに体を柔らかくしてくれました。気がついたら着いていた、というのがとても新鮮でした。

7人の先生の教え方は皆違いましたが、3人いたモンゴル人の先生はやはり多少痛くても我慢しろという感じでした。でも全員が共通して言っていたのが「呼吸を止めない」ということ。また、後屈だけでなく、前屈も同時に練習しなくてはいけない、体全体をストレッチするようにとも言われました。

先生の一人、カレンさんはインナーマッスルを鍛える先生で、元女性ボディービルダーです。体のどこが動いているかをイメージしながら練習するように言われました。(ここでカレンさんおすすめの実演が行われる)自分の専門性に必要なものだけを鍛えていたら応用が利かなくなると教えてくれました。

コントーションという名前は英語のコントート(contort; ゆがむ)から来ています。モンゴル語

では「曲がる芸術」と言います。モンゴルでは女の子は2人に1人がコントーションの経験者といえます。ラスベガスだけでなくシカゴに移住したモンゴル人たちのコミュニティもあり、そこでもコントーションをしていました。



↑在シカゴ、コントーションを学ぶ3人のモンゴル人の少女

1日目はワークショップを4時間位続けてやったので、二日目はかなり疲れていました。でもヒップホップダンスの練習などもあって楽しかったです。最終日は朝10時からリハーサルをやって15:00から最初のショー。このショーはワークショップ参加の有無に関わらず希望者は誰でも出演できます。21才以下でレベルも問わないので、発表会のような様相で、親御さん達が大喜びしていました。18:00からのショーは6名の審査員が見るコンペティションなので、こちらも21才以下という年齢制限付きですがレベルの高い子たちが出演しました。11組が出演し競演しましたが、1位を取った13才のサーシャという女の子が圧倒的でした。しかしその他はプロというか学芸会のような感じでもあり、企画制作側の人々が「これからの課題だ」と話していました。ということで今回のラスベガス滞在は、プロのアーティストと知り合うというよりも、アーティストの卵と出会い、彼等が学ぶ下地に触れた、という感じでしょうか。

辻 どうやってICCを知ったのですか？

長屋 モンゴルでコントーションを練習していたときに知り合った40才くらいのオドゲレルさんという男性コントーションニストが教えてくれました。彼はモンゴルでは食べていけないので、渡米してコーチをしています。彼に会いたかったのもあり、思い切って行ってきました。彼はこのコンベンション後シルク・ドゥ・ソレイユのオーディションを受けて、その結果を待っているところだそうです。若い頃は中国の武漢国際雑技大会に招待されたり、ヨーロッパを巡業したりと活躍していたアーティストなのですが、今はなかなか厳しいようです。

ところで主催者のSKAさんは何度か日本に来たこともあるのですが、日本ではコントーションはなぜかエロティックな対象として見られるのが、とても不思議だったと話していました。最初メールで連絡したときに、日本人でコントーション好きなので私のことを男だと思ったそうです。西田さんに日本でコントーションというエロティックになってしまうのはなぜかと聞いたら、かつてストリップショーとかと一緒に見せていたときのなごりがあるんじゃないか、と言っていました。昔はそういう演技を見ることが出来たのは、ストリップ小屋だったということですが、日本ではコントーションを一芸術としてなかなか観てくれないんですね。モンゴルでは、先ほども言いましたが「曲がる芸術」として見られます。上島さんはどう思われますか？

上島敏昭 僕はストリップと関連しているとは思わないのだけど、どうなのだろう？

安部 昔の日本のサーカスに軟体とかありましたが、こういうスタイルではないですね？

上島敏昭 ええ、違ったと思いますね。こういうスタイルでは無かったと思います。

安部 サーカスといえば、酔を飲ませると柔らかくなるというのがありましたが、あれはどこからきているのでしょうか？

- 上島敏昭 酔は体に良いとはよく言いますが、分からないですね。ただ、太神楽に行くと最初「天狗」を子どもの時にやります。それはなんでも体を反らせるのが基本だと言うから、若いうちに、ということなのでしょうね。でもその柔らかさをメインでみせるというのは、あまり日本ではないですよ。
- 山根 戦後の日本でコントーションではないですが、アクロバットダンスというのがストリップと一緒にやっていたが、日本だとそういう見せ物や芸を見せることに対して偏見があったんじゃないでしょうか。モンゴルでは社会主義時代から芸術として理解がありましたよね。
- 上島敏昭 むしろそっちのほうだと思いますね。
- 安部 そうですね。今ここに居る人はもともとサーカスに興味がある人達だから、女性の鍛え上げられた美しさを見ることで、凄いなと思うけれど。あまりサーカスを観ない人たちがコントーションのような、女性の美しさが強調されている演技を見たときに、何も感じないというのもおかしい話だと思うし。日本人だけが特に、というわけではないと思いますが。
- 上島敏昭 ええ、そう思います。
ジャグリングはビデオ学習など出来るし、出来るかも、と思ったりしますが、コントーションはなかなか出来るとは思わないですよ。
- 安部 長屋さんは最初からコントーションは出来たの？
- 長屋 モンゴルに留学してから、はじめて出来るようになりました。人間の体の柔軟性には限界がありますが、幾つになってからでも訓練すればある程度まで柔らかくなると聞きました。そういえばモンゴルでは関節が逆に曲がるだとか、ただ体が柔らかいものを「曲がる芸術」とは言わないんですよ。
- 上島由紀 なぜモンゴルではそんなにコントーションが盛んなのでしょうか？
- 長屋 これは自説なのですが、1920年代はじめのロシアがソ連の時代、社会主義で貧しかった頃に、ソ連サーカスがモンゴルに公演・交流しにやって来ました。その後、モンゴルからソ連に沢山のサーカス留学生を送り、サーカス芸術を学ばせました。モンゴルに帰ってきたアーティスト達は国立の学校を創りました。生徒の選考時は数百人規模のオーディションを行い、育てて精鋭化していきました。当時の不自由な時代に海外へ公演しに行ったり、試験も学費も免除で大学へ進んだり、家をもらえたりと、優れたサーカスアーティストは大変優遇されていました。それこそスターのような存在だったようです。その中でも有名な女性アーティストがコントーションをやっていたので、子ども達の憧れとしてコントーションがあったのだと思います。だから親も子どもに勧めてコントーションをやらせたりしたそうです。現在 50 才以上のおばさんは子どもの頃、テレビでコントーションを見ると真似をしていたそうです。そういう背景が大きな要素だと思います。
- 井上 モンゴルでコントーションをしている男性の割合はどのくらいですか？
- 長屋 50 人に 1 人くらいでしょうか。
- 上島由紀 日本でいうとバレエとかピアノを習う感覚なのかもしれないですよ。
- 山根 新体操とかに行けると、もっと発達するんじゃないでしょうか？
- 長屋 ソロの演技だったら良い線いくと思います。でもモンゴル人はチームプレイが苦手なので、団体は難しいかもしれないですよ。日本でコントーションがもっと普及するにはどうしたらいいでしょうか？
- 安部 もっと敷居が低ければ良いのでしょうか。学校で先生が教えたりしたら違うかもね。
- 上島敏昭 ジャグリングはどのようにしてこんなに流行ったのでしょうか？

- 安部 あれは簡単なものなら、すぐ出来るようになるからじゃないでしょうか？
- 上島由紀 一輪車なんかは学校でやったからだとおもうけど、でもジャグリングは学校で教えてないのに凄いですよね。
- 長屋 私は 22 才から始めましたが、1 年やれば必ず出来るようになると先生に言われました。私も酔を飲んでいたことはありますが、身体の柔軟性には関係ないみたいですね。モンゴルの子供達は柔らかくなるために食べ物に気を遣うということはまったく無く、彼女らに食べ物に気をつけているかと何度か尋ねたことがあります、何のことかわからないという表情をしていました。
- 上島由紀 へブンアーティストとかではコントーションをだけをやる人は出てこないですよね？
- 大須賀 沢入サーカス学校に一人います。アリサちゃんという子がやっています。西田さんも発表会で紹介するときに日本でコントーションニストといえるのは彼女だけだと紹介してました。
- 井上 モンゴルの人たちのコントーションと、ロシアや欧米のコントーションは少し違うのでしょうか？
- 長屋 そうですね、受ける印象はだいぶ違います。あと、モンゴルはコントーションに対してすごく誇りを持っています。実際はわかりませんが、モンゴル人は中国人より先にコントーションをやっていたとさえ言うときもあります。
- 大須賀 中国のコントーションは子どもが小さくて、ちょっと痛々しく見えるときがありますが、モンゴルのコントーションはわりと肉付きがあって健康的に見えますよね。
- 山根 中国も 20～30 年前はわりと年上の人がやっていました。年齢が下がってきたのは最近ですね。
- 長屋 モンゴルではコントーションを学んで、プロになって海外で働くというのが第一の目的かもしれないですね。
- 井上 やっぱり個人で出来るもの、個人の努力で出来るものなのでしょうね。
- 長屋 モンゴルのコントーションも変わってきています。体の柔らかさをただ追求するだけでなく、ダンスを入れたり、アクロバティックになったりしています。シルク・ドゥ・ソレイユの影響はあると思います。モンゴルコントーションを見たある日本人サーカス団員が言うには、アクロバットだったら躍動感や元気さなど、サーカスの演技にはそれぞれ観客に感じさせるものがあり、その中でコントーションは、ゆっくりとした柔らかさ、ゆっくりとした流れから「癒し」を感じさせるものだ、と。だから無理にリズムや何かを入れる必要は無いと思う、と。
- 山根 私も同感です。体の柔らかさをゆっくり見せる方がいいですね。昔のコントーションの映像を youtube とかで見る事が出来ますが、昔のものの方がシンプルで良いですね。

出席者：安部保範、井上浩一、大須賀哉子、上島敏昭、上島由紀、山根幸弘（敬称略 辻卓也記）

各サーカス団コース

★木下大サーカス

○福山公演 2009年10月10日(土)～2009年12月8日(火)

休演日 10月14日(水)、11月11日(水)と毎週木曜日

会場；福山市港町 ポートプラザ南 300m 特設会場

電話；084-925-0045

★キグレサーカス

○川越公演 2009年10月17日(土)～2009年12月6日(日)

休演日 毎週木曜日

会場；圏央道川島インターチェンジ南側特設会場

電話；049-298-5410

★ポップサーカス

○滋賀公演 2009年10月31日(土)～12月13日(日)

休演日 毎週木曜日

会場；イオンモール草津駐車場内大テント会場

電話；077-569-0420

★シルク・ドゥ・ソレイユ「CORTEO コルテオ」

○東京最終公演 2009年11月4日(水)～2009年12月20日(日)

○東京最終追加公演 2009年12月21日(月)～2010年1月24日(日)

会場；原宿・新ビッグトップ 国立代々木競技場オリンピックプラザ

電話；インフォメーションデスク 03-5237-7120

★シベリアサーカス

○野外民族博物館リトルワールド 2009年
9月12日(土)～11月29日(日)

会場；野外ホール

休演日；毎週火曜日(ただし11月3日は公
演)、11月4日(水)

電話；0568-62-5611

★モスクワ・イリュージョンサーカス

○姫路セントラルパーク 2009年9月12
日(土)～11月23日(月・祝)

会場；遊園地内「風の城」

休演日；毎週水曜日

電話；0568-62-5611

★ 昼下がりの冗事

・Vol.5 2009年12月20日(日)正午開
演

会場；渋谷 O-nest (1階コンビニ ampm の
左側からエレベーターで6階へ)

電話；03-3403-0561 (ACC)

★大道芸ワールドカップ in 静岡 2009

2009年10月31日(土)～11月3日(火・
祝)

会場；駿府公園及び静岡市内ストリート、
エスパルスドリームプラザ、セントラルス
クエア静岡

電話；054-205-9840

★デビュー

2009年11月26日(木)

会場；銀座小劇場

電話；スタジオエッグス 03-5875-4818

★さくっとパントマイムフェスティバル

2009

2009年11月26日(木)～12月6日(日)

会場；MAKOTOシアター銀座

電話；03-5449-3204

★サンキュー手塚ソロライブ vol.7

「執着～14993～」

2009年11月27日(金)・28日(土)

会場；銀座小劇場

電話；スタジオエッグス 03-5875-4818

★渦 23

2009年11月27日(金)～30日(月)

会場；しもきた空間リバティ

電話；03-3413-8110

★ちきゅうばこ

～空色いぬくんと虹色カエルちゃんのへんてこ大冒険～

2009年12月23日(水・祝)、25日(金)、26日(土)、27日(日)

会場；座・高円寺1

電話；ACC 03-3403-0561

座・高円寺1 03-3223-7500

★東京ドームニクーリンサーカス

2010年1月9日(土)～2月14日(日)

休演日；毎週月曜日と1月12日(火)

会場；東京ドームシティ JCBホール

電話；03-5800-9999

★企画展「馬のサーカス★大曲馬」

2009年10月10日(土)～11月29日(日)

会場；馬の博物館

電話；045-662-7581